

# 平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国際交流の推進				整理番号	121		枝番号		
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201	連絡先電話番号	2283		昨年度整理番号	101	
係名				上位施策名				No			
予算事業名				文化・交流の推進		交流と平和の推進				68	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				2年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区・ウィロビー市友好協定						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区・瑞草区友好協定						
	杉並区在住・在学・在勤				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 友好都市(オーストラリア・ウィロビー市、大韓民国ソウル特別市瑞草区)等の代表団や親善訪問団等の派遣や受入を行う。他課・他団体が友好都市等と交流事業を行う際、連絡調整を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区民等が、文化・スポーツをはじめ様々な分野で、友好都市等の住民と交流する機会が増える。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 友好都市訪問者数・来訪者数				(1) 友好都市との交流事業参加者数							
(2) 友好都市との交流機会提供回数				(2) 国際交流事業参加者数							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		19年度			
指標	活動指標(1)		人	66	102	21	66	22	60	110.0	
	活動指標(2)		回	3	4	3	4	3	4	100.0	
	成果指標(1)		人	718	192	400	192	400	500	38.4	
	成果指標(2)		人	10,221	6,715	8,000	6,715	7,000	10,000	67.2	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,920	1,152	6,166	3,841	5,598	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 他課・他団体の事業を含む。		
	(内)委託費		千円	342	0	0	0	0			
	職員数(正規   非常勤)		人	1.53	1.61	1.00	0.95	1.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	13,761	14,480	8,994	8,544			8,994
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++		千円	16,681	15,632	15,160	12,385	14,592			
	単位あたりコスト ÷		円	252,742	153,255	721,905	187,652	663,273			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	16,681	15,632	15,160	12,385	14,592				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	314.3	活動指標(2)の15年度達成率%	133.3	15年度予算執行率%	62.3	友好都市からの訪問団受入が予想より少なかったため、執行率が低かった。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			瑞草区とのアクション・プログラムを策定し、これに基づき新規事業(平和ポスター・絵画コンクール、共同冊子の作成、中・高校生交流会、こども委員会)を実施。								

## 平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	国際化が進み、海外へ出かける人・日本を訪れる外国人ともに増加。杉並区文化・交流協会の設立(交流係で国際交流事業を展開)。在留外国人は区内で1万人を超え、国籍も90カ国以上を多様化。国際交流事業を行うNPO、ボランティア団体の増加。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	次世代に続く交流をしてほしい。友好都市についてPRが不足している。民間団体中心で区や文化・交流協会が支援する形での交流を進めるのがよい。交流についての情報提供。
	今後の予測	ボランティア団体、NPOを中心とした交流が進む。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 友好都市との提携により、定期的・継続的に他都市との区民との交流機会をつくりだしている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力( ^ )	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	理由または具体的内容: 文化・交流協会に補助金を交付し、国際交流事業を実施してもらっている。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	
	協働等の主な形態 補助・助成(具体的内容 )	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容: 瑞草区との10年アクションプログラムの事業内容を具体化する際、関係部署と十分に打ち合わせを行い、内容の充実に努める。
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )		
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 中高生交流における派遣では、一部自己負担を実施している。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 友好都市への職員派遣については、最低限の人数とし、可能であれば泊数を減らす。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 国際交流に関しては、情報収集・提供に努め、区民の自主的な交流活動を促進していく。友好都市について、資料・情報をそろえ、区民に提供・閲覧ができるようにする。2012年まで瑞草区とは10年アクション・プログラムに基づき交流を進めていく。また、区内在住外国人のための施策の拡充や、区内在住外国人との交流の促進、それを通じた国際理解などを進めていく(国際化施策について今年度検討)。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民の派遣・受入に関しては、国際情勢をみながら対応していく必要がある。また、杉並区だけでは事業内容を決められないので他都市との協議が必要。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	ウイロビー市との友好都市提携15周年にあたり、職員派遣等の経費が増える。	

# 平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国内交流の推進				整理番号	122		枝番号			
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201		連絡先電話番号	2283		昨年度整理番号	102	
係名				上位施策名				No				
予算事業名				コード				交流と平和の推進				68
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				1 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区・風連町友好協定							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区・吾妻町友好協定							
	杉並区在住・在学・在勤				(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 友好自治体 (北海道風連町、群馬県吾妻町)等の代表団や親善訪問団等の派遣・受入を行う。他課・他団体が友好自治体等と交流事業を行う際、連絡調整を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区民等が、文化・スポーツをはじめ様々な分野で、友好都市等の住民と交流する機会が増える。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 友好都市訪問者数・来訪者数				(1) 友好都市との交流事業参加者数								
(2) 国内他自治体との交流機会提供回数				(2) 国内交流事業参加者数								
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%			
				計画	実績		19年度	年度				
指標	活動指標(1)	人	483	359	345	383	340	450	85.1			
	活動指標(2)	回	20	21	15	16	13	10	160.0			
	成果指標(1)	人	782	384	440	443	435	800	55.4			
	成果指標(2)	人	2,075	1,886	1,600	3,211	1,250	2,000	160.6			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	565	542	959	533	1,211	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 他課・他団体の交流事業も指標に含む。			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(正規   非常勤)		人	0.98	0.86	1.00	0.73	0.75				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	8,814	7,735	8,994	6,566	6,746				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	9,379	8,277	9,953	7,099	7,957				
	単位あたりコスト ÷		円	19,418	23,056	28,849	18,535	23,403				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	9,379	8,277	9,953	7,099	7,957					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	111.0		活動指標(2)の15年度達成率%	106.7		15年度予算執行率%	55.6			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		文化・交流協会が運営する区役所1階「コミュかるショップ」において風連町と吾妻町の物産を販売。また、吾妻町企画の交流事業(収穫体験と持ち帰り、農産物の宅配)のPR等を実施。										

## 平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	吾妻町・風連町で開催されるまつりへの阿波踊り訪問団派遣事業は13年度から杉並区文化・交流協会へ移管。全体的に区が主催する交流事業は縮小傾向にある。	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	物産販売等、経済交流を進めてほしい。	
	今後の予測	物産交流などの進展が考えられる。	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )		理由: 友好都市との提携により、定期的継続的に他都市との区民との交流機会をつくりだしている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力( ^ )		理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )		理由または具体的内容: 文化・交流協会に補助金を交付し、国内交流事業の一部を実施してもらっている。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )		
	協働等の主な形態 補助・助成(具体的内容 )		
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )		理由または具体的内容: 特定分野での協定を結び、対象(交流を図る自治体)を増やすことは可能である。
成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )			
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )		理由または具体的内容: 代表団は受益者に該当しないため。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )		理由または具体的内容: 友好都市への出張については、可能であれば泊数を減らす。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 文化・交流協会の運営するコミュかるショップでの友好都市の物産販売にあわせた友好都市のPRの拡充を図る。友好都市の資料を集め、閲覧・提供ができるようにする。経済交流について、調整を図り、物産販売等区民を中心とした交流が進むようにする。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 杉並区だけでは、事業内容を決められないので、他都市等との協議が必要。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 友好都市への出張については、可能であれば泊数を減らす。		

# 平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		平和都市宣言関連事業の推進				整理番号	123		枝番号		
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201	連絡先電話番号	2286		昨年度整理番号	103	
係名		男女共同参画推進担当			上位施策名				No		
予算事業名		平和事業の推進		コード	11750		交流と平和の推進			68	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				1 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区平和都市宣言						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2)						
	区民				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 平和のつどいや平和ポスター・コンクール、展示などの開催による平和都市宣言の趣旨の普及・啓発 非核宣言自治体協議会の加入・全国大会への参加による自治体間の連携 核実験等に対する抗議文の送付				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民一人ひとりが、戦争の悲惨さ、平和の尊さに対する認識を深めることにより、世界の恒久平和に寄与する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 平和のつどい参加者数				(1) 平和のつどい参加者のうち初めて宣言を知った人 ÷ 全参加者数							
(2) 平和ポスター・コンクール応募者数				(2) 平和のつどい参加者のうち戦後生まれの人 ÷ 全参加者数							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		22	年度		
指標	活動指標(1)		部	175	350	500	1,879	500	500	375.8	
	活動指標(2)		事業	381	409	400	475	400	400	118.8	
	成果指標(1)		%	44	37	50	51	50	50	101.0	
	成果指標(2)		%	68	35	60	35	60	80	43.8	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,060	1,788	5,491	5,292	2,106		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(正規   非常勤)		人	0.60	0.60	0.80	0.89	0.90			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,396	5,396	7,195	8,005	8,095			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	7,456	7,184	12,686	13,297	10,201			
	単位あたりコスト ÷		円	42,606	20,526	25,372	7,077	20,402			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0		
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 -		千円	7,456	7,184	12,686	13,297	10,201				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	375.8	活動指標(2)の15年度達成率%	118.8	15年度予算執行率%	96.4			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			区が所有する戦災写真パネルを区内の各地域で展示してもらうため、地域集会施設運営協議会事務局あてに積極的な展示依頼を行っている。								

## 平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	国際平和への協力やテロという冷戦後の新しい脅威への対応など、日本の平和と安全をめぐる状況が変わってきている。アメリカの新たな小型核兵器の開発が明らかになるとともに、国際社会における核拡散が大きく懸念されている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平和のつどい事業の参加者などからは、もっとPRしてさらに多くの参加を促すべきであるという意見や継続して開催していくことが重要という意見が多い。日本の戦争被害のほか加害状況についても取り上げる必要があるという意見がある。
	今後の予測	日本の国連の中での役割の変化や国際平和への積極的な協力について、国民の議論が深まる。戦争体験者の高齢化が進み、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えていく区の役割と責任は重くなる。区が、平和事業を進めていく重要性は増大していく。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:世界の恒久平和に対する区民の意識を直接高める事業を実施している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由 )	理由:区は、平和都市宣言を行っていることから、世界の恒久平和の実現に向けて、公正な立場で、平和事業を推進していく必要がある。
	協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	理由または具体的内容:平和ポスターの募集にあたり、杉並ユネスコ協会と協力して、平和学習への支援や展示を行っている。区が所有する戦災写真パネルを地域集会施設運営協議会に積極的に貸し出し、区内の各区民センターで展示会の開催を支援している。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容 )	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容:区が所有する戦災写真パネルや平和ポスターを学校等の施設へ貸し出しを行う。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:趣味や文化活動とは異なり、平和意識の啓発には、受益者負担は適さない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:現在も、必要最低限の経費で行っている。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平和のつどいは、平和の尊さや戦争の悲惨さを伝え、平和に対する現代的な課題を取り上げ、戦後世代も含めた多くの世代が平和への関心を高められるような事業を行う。区内のNPOや地域団体等を支援し、地域で戦災写真パネルの展示会や戦争を語る会などが実施できるようにする。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 日本と世界の平和問題に関する動きは早い。平和のつどい等に事業化していくために調査・研究を重ねていく。地域で平和事業が行われるように、他の部署と連携を図っていく。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 平年予算とする。		

# 平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国内交流事業				整理番号	446		枝番号			
担当部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	462	
係名		事業係		上位施策名				No				
予算事業名		児童健全育成事業		コード	43550		交流と平和の推進				68	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区都市交流実施要領							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)							
	区内在住の 小学4年生～6年生(吾妻30名、風連25名) 中学生(風連25名)				(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 風連、吾妻両友好都市の児童とともに、班ごとの交流活動、町内探索等のプログラムを実施する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 子どもどうしの交流をとおして、友好都市の文化、生活、風土等の理解を深めることにより、児童の健全育成を図る。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 参加者数				(1) 応募者数								
(2)				(2)								
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%
			計画	実績	計画	実績	17年度	年度				
指標	活動指標(1)			70	54	80	75	55	75	100.0		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)			108	69	90	91	60	80	113.8		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,806	5,146	5,046	4,691	3,025	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	0								
	職員数(正規   非常勤)		人	1.20   0.00	1.20   0.00	1.20   0.00	1.20   0.00	1.20   0.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	10,793	10,793	10,793	10,793				10,793
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 ++		千円	15,599	15,939	15,839	15,484	13,818				
	単位あたりコスト ÷		円	222,843	295,167	197,988	206,453	251,236				
	財源	受益者負担分		千円	1,350	870	1,458	1,433				865
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0				0
		特定財源計 +		千円	1,350	870	1,458	1,433				865
差引:一般財源 -		千円	14,249	15,069	14,381	14,051	12,953					
受益者負担比率 ÷		%	8.7	5.5	9.2	9.3	6.3					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	93.8	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	93.0	吾妻交流会について、杉並区実施の年に当り、プログラムの魅力を増す工夫をした。その分経費増が見込まれたが、参加者の受益者負担のかたちで対応した。				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		吾妻交流会について、吾妻実施の年に当り、先方と協議の結果経費の削減が可能との見込みが立ったため減額した。										

## 平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度以降、吾妻交流会が2年越しでの相互交流となったため、杉並区実施の年(13年、15年)は魅力に欠けるためか応募者・参加者ともに少ない。また、風連の中学生交流も、14年度以降隔年実施(15年実施)となっている。また、参加者の状況を見ると、冬の風連町交流会において、風連町側の中学生の参加が減少傾向にあり(15年度杉並24名に対し10名)、相互交流の観点から課題となっている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	小学生の交流については、概ね「よい経験になった」「町と町の交流は貴重」と、前向きな評価と事業継続の期待が寄せられている。
	今後の予測	以前に参加経験のある子どもが再び応募するケースが徐々に増えてきている。この傾向は、風連町、吾妻町にも同様にあり、今後も続くことが予想される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: キャンプ等通常の野外活動と異なり、他都市の子どもどうしが生活体験を共有する事業は他に見られない。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由 )	理由: 都市間交流の観点から、行政が担うべき。
	協働等は実現しているか 当面実現は困難である(理由 )	理由または具体的内容: 上記のとおり。
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容: 応募者の低迷が続く吾妻交流会について、参加対象の4~6年生を、3~6年生とすることを考える余地がある。	
成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )		
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 先方自治体とも協議の上、事業を点検し、場合によっては若干の受益者負担の増加も検討の余地がある。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 先方自治体とも協議の上、事業を点検し、場合によっては若干の受益者負担増も視野に入れ、一部経費を削減する余地はありそう。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 応募状況の低迷化傾向が続くと思われる。参加者の重複や固定化を避けるためのPR方法の見直しとともに、プログラム内容の一層の工夫が求められる。また、冬の中学生交流については、双方の参加者のバランスがとれるような工夫が必要である。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 風連町側と、今後のあり方について十分に協議する。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 対象者の事業離れに配慮しつつも、受益者負担を一部見直すことで既定経費の削減を図る方向を、先方自治体と協議する。		